

「情報公開文書」

受付番号：2023-4-158

課題名：睡眠時間に関する相関解析と結果のモデル化

研究責任者：大同生命保険株式会社 商品部長 辻岡康信

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査に参加された方

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間：2024 年 2 月（研究実施許可日）～2026 年 3 月

試料・情報の利用又は提供を開始する日：東北大学から情報の提供を受けた日

【研究目的】

睡眠不足を含め、さまざまな睡眠の問題が慢性化すると、肥満、高血圧、心疾患や脳血管疾患の発症リスクの上昇や死亡率の上昇にも関与することが明らかとなっている。本研究は、睡眠時間と健康に着目し、睡眠時間と死亡リスク・傷病発症リスクとの関連を定量的に明らかにし、新たな保険商品（健康増進型保険）の開発につながることを目的とする。

将来的には年代ごとに適切な睡眠時間を推奨することで、被災地住民含む人類の健康増進に寄与することを目指す。

【研究方法】

睡眠時間と各種健診結果（BMI、血圧、尿検査など）の相関を分析し、睡眠時間の特性を健診結果項目により「見える化」することで死亡リスク・傷病発症リスクへの影響を定量的に測る。具体的には、東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査参加者を平均睡眠時間により複数の群に分類し、睡眠時間の長さにより各種健診結果に有意差があるかを解析する。各種健診結果と死亡リスク・傷病発症リスクの関係は、当社の保持している保険契約のデータベースから分析し、両者をつなぎ合わせることで睡眠時間の違いによる死亡リスク比・傷病発症リスク比を算出する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート「2.3.4 地域住民コホート特定健診相乗り型ベースライン調査 67K」の情報のうち以下を使用。

基本情報、調査票情報、検体検査情報、特定健康診査情報、介護保険情報

医科レセプト情報

4. 外部への試料・情報の提供

東北大学東北メディカル・メガバンク機構において個人情報加工された試料・情報のみを用いるため、提供する試料・情報には、個人が特定できる情報は含まれない。

分譲された情報は、社内ファイルサーバに保管し、社内ユーザーのフォルダアクセス権設定により、研究に関わる者以外のアクセスができない環境に保存する。研究終了後3年が経過した日まで保存し、その後は情報漏洩に注意してファイルを再現できない形で適切に廃棄する（社内システムによりファイル削除から7日間以上経過すると復元不可となる）。

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：山本 雅之 機構長

【提供を行う試料・情報】

試料：該当なし

情報：基本情報、調査票情報、検体検査情報、特定健康診査情報、介護保険情報
医科レセプト情報

5. 関係研究組織

該当なし

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東北メディカル・メガバンク機構 試料・情報分譲担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL：022-272-6955

東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL：022-718-5161

岩手医科大学 いわて東北メディカル・メガバンク機構

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1 岩手医科大学 矢巾キャンパス

TEL:019-651-5110（内線 5508/5509）

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第33条の2＞

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合